

第4学年 社会科学習指導案

日時 平成22年9月30日(木) 6校時
学級 4年4組 男子15名 女子17名 計32名
場所 4年4組教室
指導者 教諭 千葉 道宏

1 単元名 昔の暮らしとまちづくり「昔の暮らし」

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(5)ア「古くから残る暮らしにかかわる道具、それを使っていたころの暮らしの様子」に基づいて構成している。

道具には、その時代における人々の技術や知恵がつまり、暮らしの様子に大きく反映されている。その道具とそれを使っていたくらしの様子を調べることを通して、地域の人々のくらしが移り変わってきたことについて学習する。具体的には、歴史的背景に関心をもちながら、過去のくらしにおける先人の知恵や工夫に気付いたり、道具の変化に伴うくらしの変化や人々の願いについて考えたりすることである。また、調べる対象が地域の過去にあるため、必然的に地域の人々とのふれあいが生まれ、地域社会に対する見方や愛情の広がりにもつながると考える。

以上のことから、地域の人材から学ぶ場を設定し、昔の道具にふれることや聞き取り、見学等の体験学習を軸に単元を構成する。その中で、地域の過去と今の自分のくらしをつなげて考えられるようにし、道具にかくれている先人の知恵や願いに気付かせることがねらいである。

(2) 児童について

児童はこれまでに、「安全」、「健康」という観点で、見学を軸にした学習活動でまちづくりを考えてきた。その中で、既習内容や生活経験を根拠に予想を立てることや、公共施設のはたらきを努力や協力、願いといった視点で考えること、比較して共通点を考えること等、単位時間の中で活用して考えられる児童が徐々に育っている。見方や考え方については、比較して特色をとらえる見方や、その事実を関連付けて主に因果関係を考えること続けてきたが、まだまだ一面的な見方や考え方が多いのが実態である。

児童の社会科に対する関心は高く、9割近くの子が「好き・どちらかといえば好き」と答え、その理由は、校外に出て調べる体験学習と自分の生活に生かせるというのが主なものであった。事前調査からは、昔の道具の名称だけは知っているが、使い方等の知識は、ほとんどないことが分かった。祖父母との同居も少なく、農業を営んでいる家庭もない。

以上の実態から、実際に見たり触れたりする体験活動を通してその特色を考えさせ、社会的な見方や考え方を育てる必要がある。

(3) 指導にあたって

初めての歴史的な内容であることを配慮し、特に工夫する点は次の5点である。

①問題意識をもたせ追究意欲につなげる

単元の導入でいくつかの昔の道具を提示し、道具に触れさせその使い方を予想させることで児童なりの問いを学習問題化するとともに、見学への意欲を喚起する。

②実物と地域のお年寄りから学ぶ

可能な限り実物を準備し、道具と直接かかわる活動を連続させる。その際、地域のお年寄りから学ぶことを重視し、道具の工夫された点やよいところに気付かせ、先人は知恵を出し工夫して生きてきたことに気付かせる。

③「米」に関わる道具の選択

奥州市は、米の産出額が県内第1位であり、米作りがさかんな地域である。そこで、米づくりや炊飯の道具を主に取り上げて、先人の知恵や地域の歴史を感じさせる。

④比較を意図した資料提示や思考を促す発問

道具の特徴や使い方など、比較して事実をとらえさせることや、「どうして今、昔の道具が売られているのか」といった思考を必要とする発問により先人の知恵に気付かせる。

⑤「振り返り」により学びをつなげる

本時の学びを既習事項や生活経験とつなげて「気づき」を書かせ、次時につなげていく。

(4) 活用させたい「知識・技能」

既習事項【何を】	既習事項の活用【どのように】
<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具の名前や使い方（生活経験） ・さまざまな施設の働きや人々の努力や工夫によって安全と安心が守られていること。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> －読み取り－ ・視点をもとに、気付いたことや分かったことを書いたり話したりする。 －調査－ ・視点にもとづいて観察し、簡単な質問をする。 ・五感を使って観察する。 ・準備した内容についてインタビューする。 －表現－ ・調べたことを書き写す。 ・分かったことや自分の考えを書く。 	<p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問や問いをもとに学習問題を設定する。 ・問題解決の方法を考える。 ・道具の変化には、先人の知恵と願いがかくれていることを考える。 ・今と昔や道具の変化を比較したり、道具の変化に伴って暮らしが変化したことを関連付けて考える。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具や昔の奥州市の写真資料を読み取る。 ・他の事象と比較しながら観察する。 ・校外学習（見学）や体験活動で視点をもって調べ、発見や気づきをメモする。 ・地域の人や家族に聞き取り調査をする。 ・道具の絵カードを作る。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○昔の道具の使われ方や、それらを使っていた頃のくらしの様子を進んで調べ、今のくらしの歴史的背景に関心をもつ。	・昔の道具の使われ方や、それらを使っていた頃のくらしの様子に関心をもち、進んで調べようとしている。
社会的な 思考・判断	○昔の道具を調べることを通して、昔のくらしにおける先人の知恵や工夫、願いについて考えることができる。 ○昔と今の道具の違いから、くらしの変化を考えることができる。	・道具とその当時のくらしとの関連、過去のくらしにおける先人の知恵や願いを考えている。 ・道具の移り変わりによるくらしの変化を具体的に考えている。
観察・資料活用の 技能・表現	○昔の道具の使い方や工夫を観察や体験、聞き取りを通して調べることができる。 ○調べた結果や分かったことを、工夫して表現することができる。	・昔の道具について、資料館の見学や観察、縄ない体験などを通して、具体的に調べている。 ・調べた結果や分かったことを、絵カードに分かりやすく表現している。
社会的事象についての知識・理解	○先人の知恵や工夫、願いが道具を変え、それに伴ってくらしが変わってきたことを理解できる。	・道具にかくれている先人の知恵や願いと道具の変化とともにくらしが変わってきたことを理解している。

4 単元の指導・評価計画（9時間）

段階	時間	目 標	○学習課題 ・主な学習活動 ☆主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
とらえ	1	昔の道具の使い方や使い道を話し合い、昔のくらしに関心をもつことができる。	○何に使われていた道具なのか予想しよう。 ・昔の道具を観察し、何に使ったのか、どのように使ったのか、思ったことを話し合う。 ☆写真資料と実際の道具を準備して、よく見させることで想像を広げさせる。	・道具をよく見て、気付いたことや考えたことを書いている。 【関心・意欲・態度】 (ノート・発表)
	2	昔の道具を使うことを通して、くらしの違いに気づき、昔のくらしに関心を深めることができる。	○昔の道具からその当時のくらしを考えよう。 ・洗濯板を実際に使ってみて、疑問や問い、分かったことをまとめる。 ☆地域のお年寄りに実演してもらおう。 ☆道具と直接かかわる活動を保障する。	・発見したことや昔のくらしを調べようとする感想を書いている。 【関心・意欲・態度】 (観察・ノート)

	3	学習問題を設定し、学習計画を立てることができる。	○昔のくらしを調べる計画を立てよう。 ・前時までの疑問や問いを整理し、学習問題を設定する。 ☆問題を整理することで見通しをもたせ、解決に必要な方法を考えさせる。	・道具とくらしについて問題意識をもち、解決の見通しをもっている。 【思考・判断】 (ノート)
ふ	4 5	昔の道具の特徴について、見学や聞き取りをして調べることができる。	○昔の道具のひみつをさぐろう。 ・武家住宅資料館を見学する。 ☆昔の道具を調べる視点を与えて見学させる。 ☆かまを使ってご飯を炊く様子を見せる。	・昔の道具を調べ、分かったことや疑問を記録している。 【技能・表現】 (ノート・絵カード)
か	6	昔と今の道具を比べて、その特徴から先人の知恵と道具の違いを理解することができる。	○道具はどのように変わってきたのだろう。 ・昔から今にかけての炊飯の道具を比較して、特徴をとらえる。 ・昔の道具と今の道具の違いを考える。 ☆実物を提示して「手間や時間」、「エネルギーの種類」等、比較の視点を与える。	・昔と今の道具の特徴から先人の知恵と道具の違いを理解している。 【知識・理解】 (ノート・絵カード)
め	7	米作りの道具の移り変わりが、仕事の様子を変えたことを理解することができる。	○米作りはどのように変わってきたのだろう。 ・地域の方のお話を聞き、道具の移り変わりが仕事をどのように変えたのかをとらえる。 ☆地域のお年寄りにお話してもらう。 ☆仕事量と時間を視点に、どのように変わってきたのかをとらえさせる。	・農機具の変化が仕事の量や時間を変えてきたことを理解している。 【知識・理解】 (ノート・絵カード)
ま	8	道具は先人の願いとともに使いやすく移り変わり、それに伴ってくらしがより便利に変わってきたことに気付くことができる。	○どうして道具は、変わってきたのだろう。 ・その時代に便利でよいものが、どうして変わってきたのかを「願い」を視点に考える。 ・道具の変化は、くらしをどのように変えたのかを考える。 ☆洗濯と炊飯の道具から考えさせる。 ☆昔の道具が今も売られている事実から、今の道具にはない昔の道具のよさと先人の知恵に気付かせる。	・道具は先人の願いとともに使いやすく移り変わり、くらしを変えてきたことに気付いている。 【思考・判断】 (ノート・発表)
と	9	交通の移り変わりは、道具とくらしの関係と同じようにくらしを変えたことを考えることができる。	○交通の移り変わりは、くらしをどのように変えたのだろう。 ・副読本「わたしたちの奥州市」の写真資料を、道具の絵カードと時期を合わせて分類し、その当時のくらしを考える。 ☆絵カードと拡大写真を並べて、視覚的に分かりやすくする。	・交通の変化に伴って、くらしが変化したことを道具とくらしの関係と関連付けながら考えている。 【思考・判断】 (ノート・発表)

5 本時の指導 (8/9)

(1) 目標

道具は先人の願いとともに使いやすく移り変わり、それに伴ってくらしが変化してきたことに気付くことができる。

(2) 本時の指導にあたって

〈仮説とのかかわり〉

手立て1 活用させたい「知識・技能」の明確化

- ・道具の変わり方とその時代における道具の特徴。
- ・視点をもとに気付いたことや分かったことを書く。

手立て2 習得した「知識・技能」を活用して社会的事象を解釈・再構成し、表現する活動の位置付け

- ア・習得した知識を根拠に予想させる。
- イ・比較・関連付けて考えさせ、つなげることで見方や考え方を深めさせる。

手立て3 学びのよさに気付く評価活動

- ・既習内容や生活経験とつなげて「気付き」を書かせ、次時につなげる。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料						
とらえる 5分	1 学習を想起する。 2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> どうして道具は、うつり変わってきたのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 道具を昔の物から順に並べることで、道具がどのように移り変わってきたのかを想起させる。 前時のふり返りと道具の移り変わり方から本時の課題につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 側面掲示 道具の写真 プロジェクタ パソコン 						
ふかめ 35分	3 予想を立てる。 ・ノートに考えを書く <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【活用】手立て2-ア 既習内容をもとに、自分なりの予想を立てる。 </div> 4 課題を追究する。 (1) 時代ごとに、道具としてのよさを整理する。 (2) 道具が変化してきた理由を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【活用】手立て2-イ 視点をもとに比較・関連付けて類推的に理由を考える。 </div> 5 考えを交流する。 ・道具が変化してきた理由を話し合う。 6 課題のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【評価規準Bの例】 道具は、くらしをよりよくしたいという人々の願いとともに変化し、くらしをより便利に変えてきた。 (2段落目に気づきをまとめる) </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習を根拠に予想させ、個々に問題意識をもたせる。 本単元で主に扱ってきた「洗濯と炊飯」の道具の特徴をもとに考えさせる。 それぞれの時代において「便利でよいもの」であることを押さえる。 「便利でよいものが、どうして変わってきたのだろう」という発問により、ノートに箇条書きでまとめさせる。 「願い」という視点を与える。 「なぜ、どのように変わってきたのか」、「つまり、くらしがどうなってきたのか」等の発問で、道具の変化とくらしを関連付けさせる。 「よりよく」という願いが道具を変え、くらしを便利にしてきたことに気付かせる。 課題と予想に立ち返り、キーワードをもとにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の道具 写真資料 実際の道具 写真資料 						
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【評価規準】(思考・判断) ・道具は先人の願いとともに使いやすく移り変わり、くらしを変えてきたことに気付いている。 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">《具体的評価規準》</td> <td style="width: 50%;">努力を要すると判断された児童への具体的な手だて</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人々の願いが道具を変え、くらしを変えたことをノートに書いている。</td> <td>板書の赤文字や友達の発表を手がかりに、理由をまとめるように支援する。</td> </tr> </table>	《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手だて	B		人々の願いが道具を変え、くらしを変えたことをノートに書いている。	板書の赤文字や友達の発表を手がかりに、理由をまとめるように支援する。	
《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手だて								
B									
人々の願いが道具を変え、くらしを変えたことをノートに書いている。	板書の赤文字や友達の発表を手がかりに、理由をまとめるように支援する。								
	7 新たな問いをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どうして今、昔の道具が売られているのか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 店頭に並ぶ昔の道具(洗濯板・七輪)を提示し、新たな問いをつかませる。 							

	<p>【活用】手立て2-イ 道具の特徴から類推的に事象の意味を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の道具と違ったよさに着目させ、あらためて先人の知恵や苦心に気付かせる。 ・くらしをよりよくしたいという願いは、今も続き、今使っているものも変わっていくことを、身近な事例で気付かせる。 	
まとめる 5分	7 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 ・気づきを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきを広めることで、学びのよさに気付かせる。 	

(4) 板書計画

